

## 240 はこれで良いのか？

JJ1SXA 池

240グループは、皆様ご存知の通り、昭和56年1月に、調布飛行場に集まった局が、50MHzのモービル運用をやる局の輪を広げようと、連絡周波数として、50.240MHzを設定、ここから240グループがスタートしたのです。

定時ワッチ制やロールコールの実施、その他種々の試みで、50.240MHzを全国的なモービルの呼び出し周波数にとの呼びかけで、1エリアは勿論、2エリアや、3エリアにもその輪は広がり、一時は隆盛を極めました。現在はモービル局の激減と高齢化で、活動はかなり衰退しています、栄枯盛衰は世の倣いとはいえ、寂しい限りです。

その昔は、50MHzSSBにアクティブなOMさんたちのほとんどが、50.240MHzはモービルの周波数として認識しており、この周波数に無造作に出て来る局は、無線暦に、関係無く、50MHzのニューカマーと思われたものです、他エリアのOMさんたちは、ビーコン代わりにワッチ、240の交信が聞こえると、eスポが開けた、それと、周波数を変えてCQを出したものです。(そのくらい240は46時中アクティブだった)

コンテスト周波数は決められていますが、50.110MHzが慣習でDX周波数として認識されており、DX交信を邪魔しないよう、50.150MHz以上、あるいは50.200MHz以上等の案が出たが、50.240MHzにモービルが出るのでと、最終的に、50.250MHz以上に決まると、当時のあるコンテスト委員が裏話を教えてくれました。

そんな話は、今は昔、50.240MHzはモービルの呼び出し周波数(連絡周波数)と思っているのは、240グループのメンバーのみ、それも一部のメンバーの思い込みに過ぎないと言ったところが現状です。

アマチュア無線も随分様変わりしていますが、アンテナも大変、ノイズも大変、その他諸々の悪条件を克服し、50MHzSSBを使ってモービルで遠距離通信を達成しようと試行錯誤で努力を重ねてきた、そんな240の原点の考えは、もう古いのか？240が自然消滅の方向に向かうことも仕方の無いことなのか？

数年前から、こんな悩みを持って、皆様にアピールのため、TWO-FORTY誌に記事を書かせてきました、「240の現状と将来に危惧を感じ、年頭に想う」は、12年前の第39号(1998年3月発行)に、「偏に風の前の塵に同じ」は4年前の第64号(2006年3月発行)に掲載してあります、残念ながら、余り反応はありません、真剣に考えていただいている局は、ほんの一握りの局しかいないのでは無いかと思っています、「花の命は短かくて、苦しきことのみ多かりき…」では無く、今年一杯で丸30年の永きにわたり、一生懸命考え、楽しませてもらい、また時には苦しみ、やみくもに突っ走ってきたものの、少々疲れてきました、さて、今後どうしたものでしょうか？

240の現状を把握し、将来に向けてどうあるべきか？各局それぞれに、真剣に考えていただきたいと思っています。